



与那原町脱炭素に向けた取組

(令和4年7月20日 脱炭素に向けた町民勉強会資料)

令和4年7月
沖縄県与那原町





1. 脱炭素先行地域とは
2. 応募の理由
3. 脱炭素先行地域の内容
 - ① エリアの設定
 - ② 実施内容
4. 今後のスケジュール

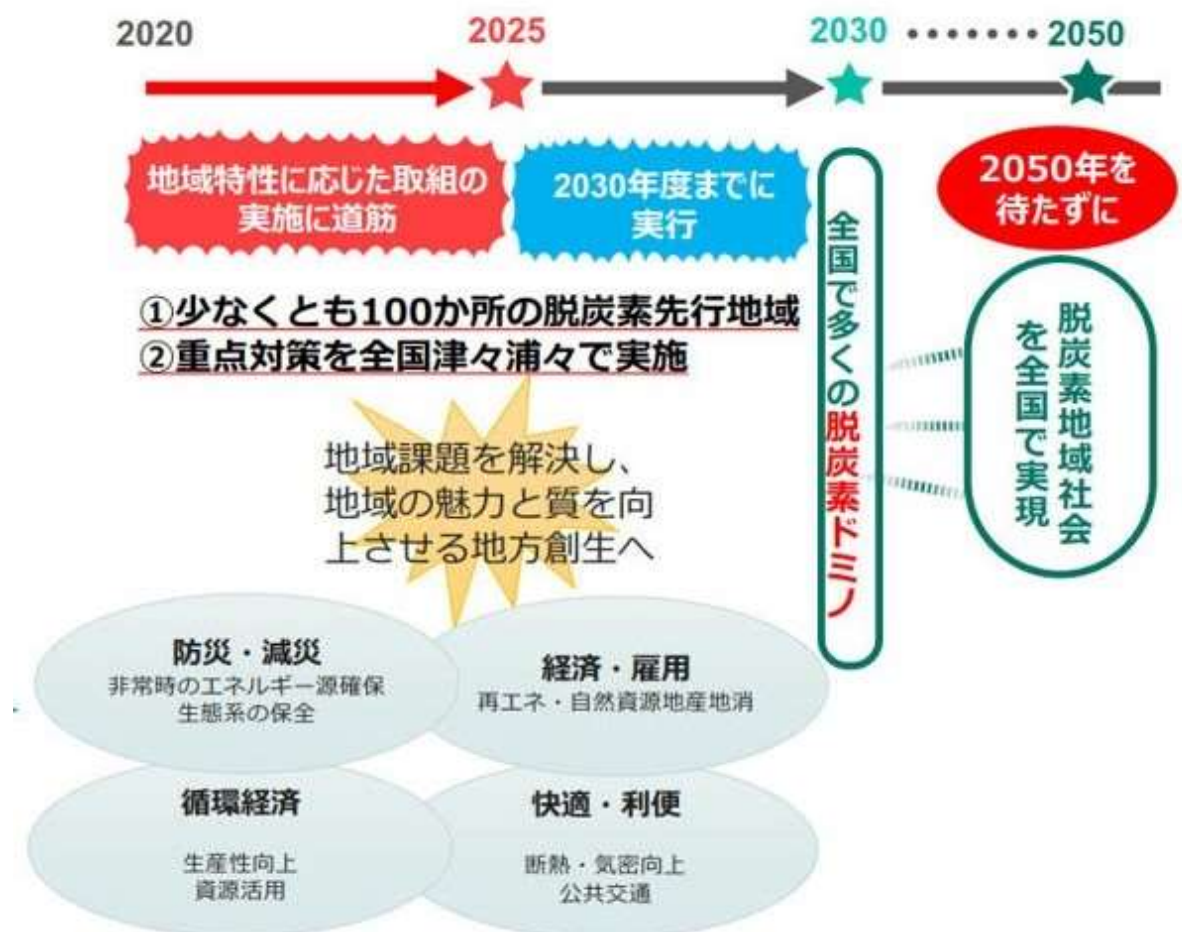


1. 脱炭素先行地域とは

○国が脱炭素事業に意欲的に取り組む地方自治体等を複数年度にわたり継続的かつ包括的に支援するため、少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」を選定するもの。

○選定された場合は、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」による支援が行われる。

※令和4年4月26日
第1回脱炭素先行地域として
「全国26自治体」を選定。



2. 応募の理由

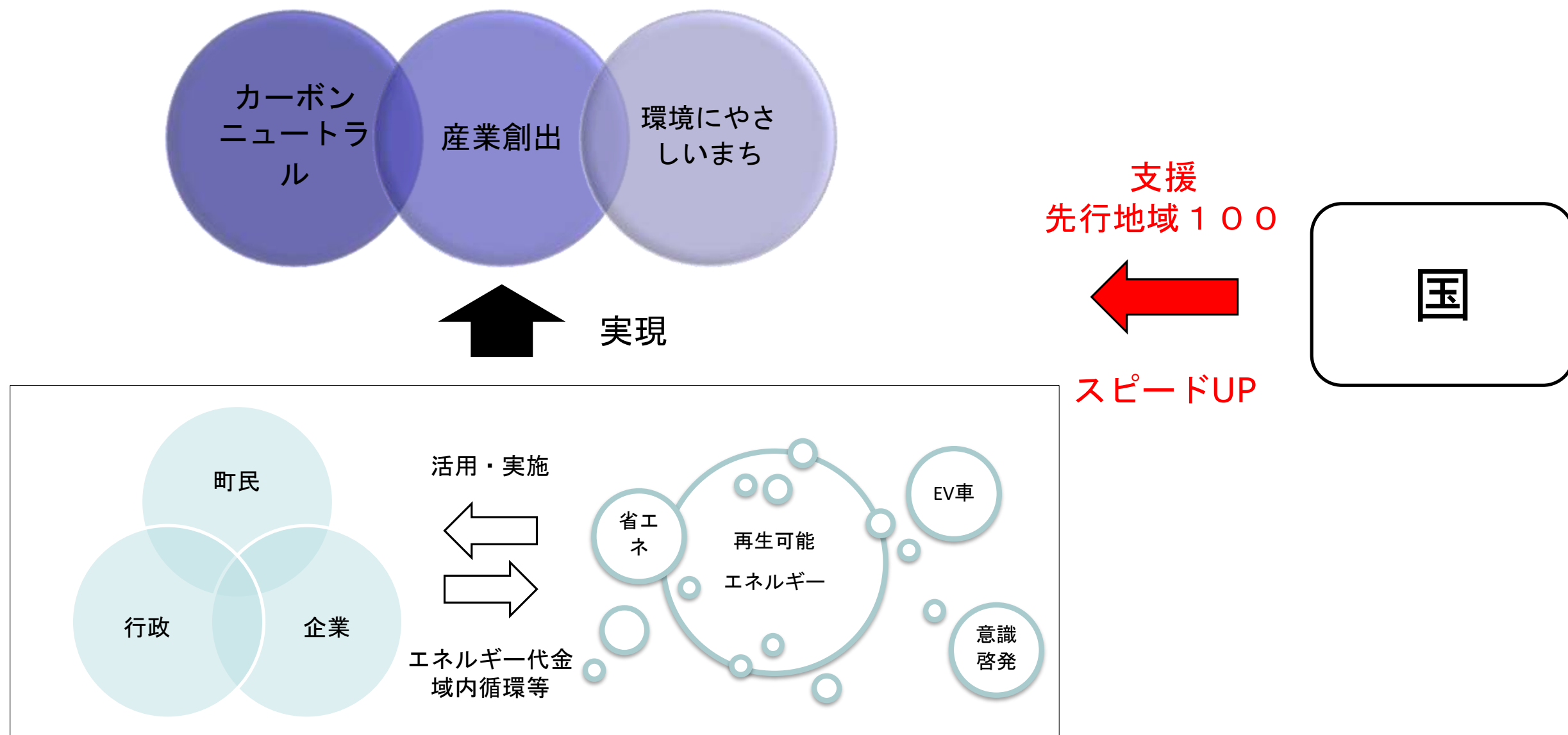


与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



次世代につながる持続可能なまちを創っていくため、また、本事業を通して新たな産業創出や稼ぐ力など経済効果を生み出すことを目指し、脱炭素に取り組んでいくこととしている。

実現のためには町民と行政、企業との連携協力が必要であり、また、国の支援を受けながらスピード感をもって実施していきたいと考えている。





3. 脱炭素先行地域の内容

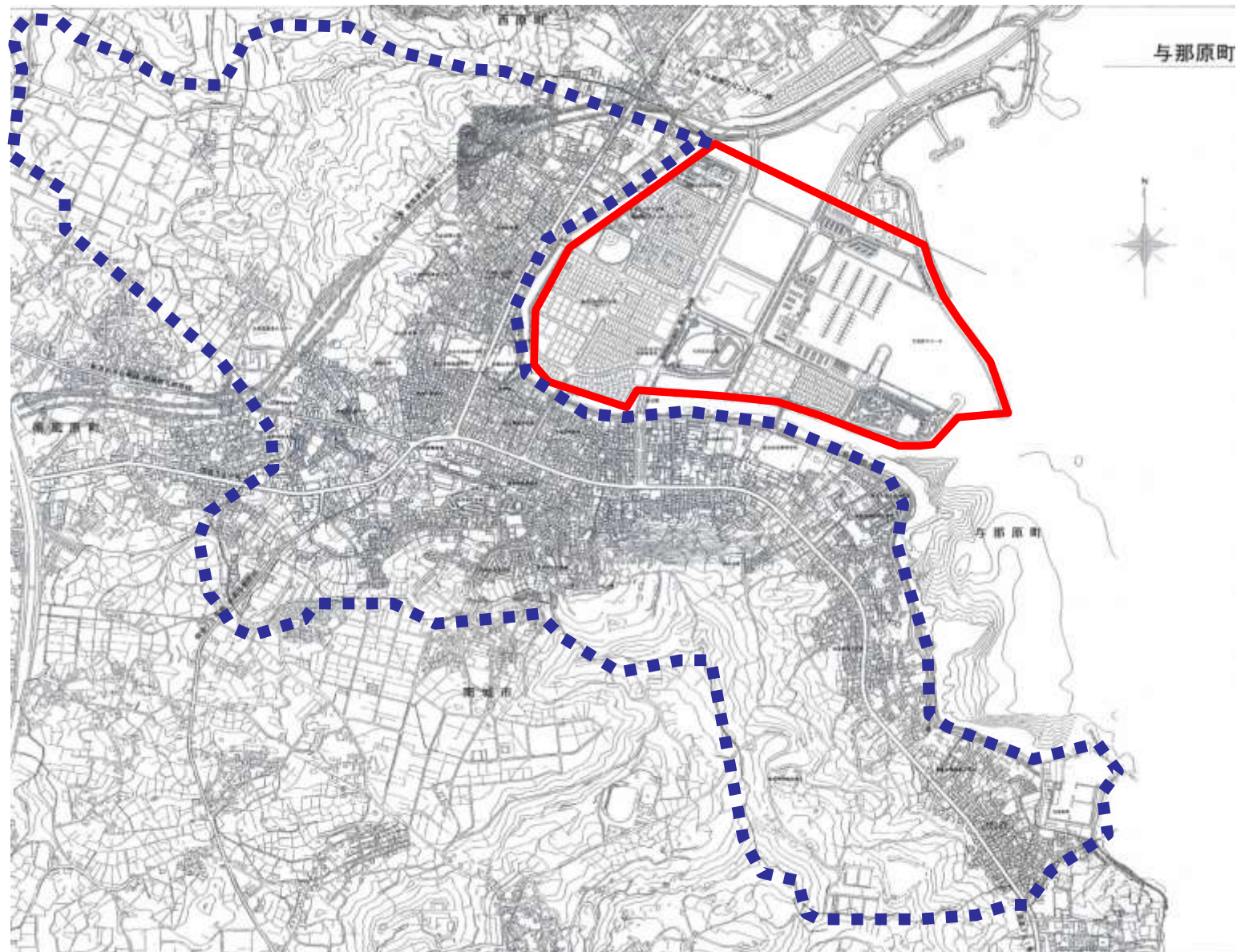
① エリアの設定

脱炭素先行地域では、ある一定地域の範囲を選定し、当該エリアの電力消費に伴うCO2排出0を実現する必要がある。

エリアとしては、**「マリンタウンエリア」**を想定している。

○選定の主な理由

- ・世界中から集まるMICE施設が立地予定、脱炭素の**「エリアまるごとショールーム」**として世界中に発信することができる。
- ・新しい開発エリアであり**太陽光施設の設置が可能な地域**
- ・地域内に大学があり、例えばSDGsの学びとしての連携などにより、**人材育成の拠点**となり得る地域である。



3. 脱炭素先行地域の内容

② 実施内容

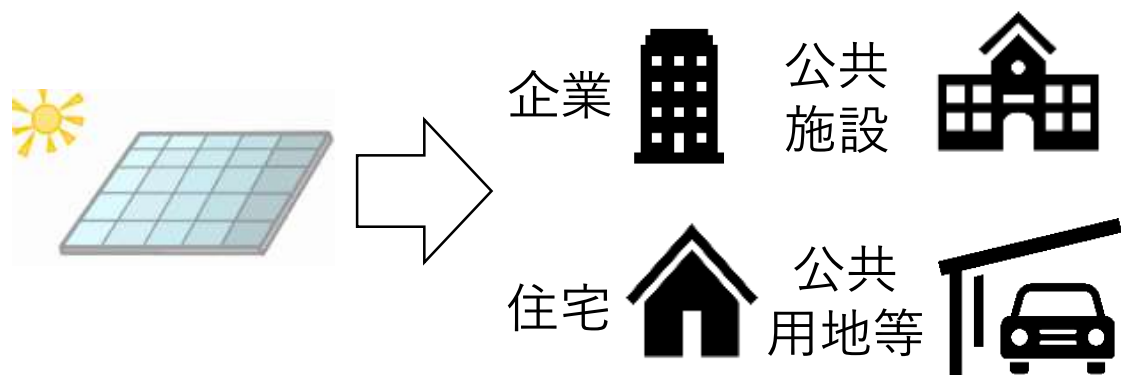


与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

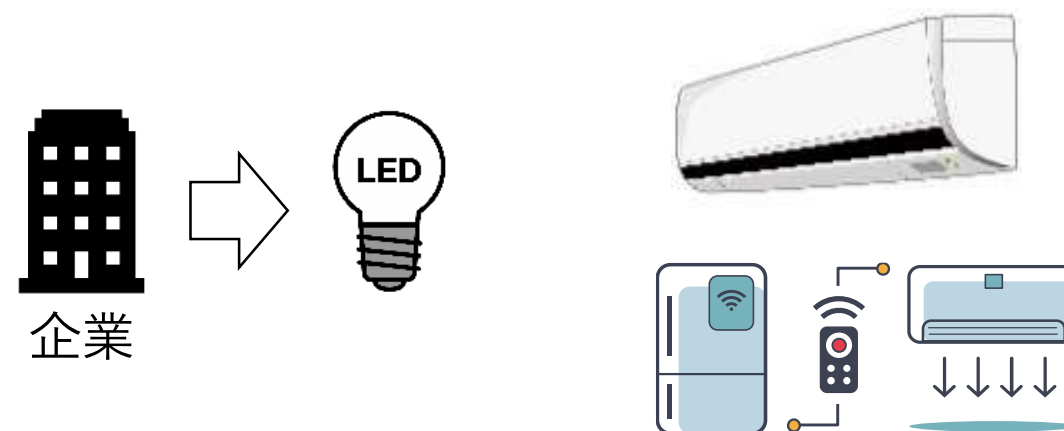


太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーや省エネ等を活用した、地域脱炭素に向けた取組を検討している。

ア. 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入



ウ. 企業等と連携した省エネ化



イ. 電気自動車の導入活用



エ. 日常生活での取組促進 (シビックプライドの醸成)



勉強会の開催
省エネの取組（企業・家庭）
働き方改革／エコ通勤
自動車プラスワン運動

3. 脱炭素先行地域の内容

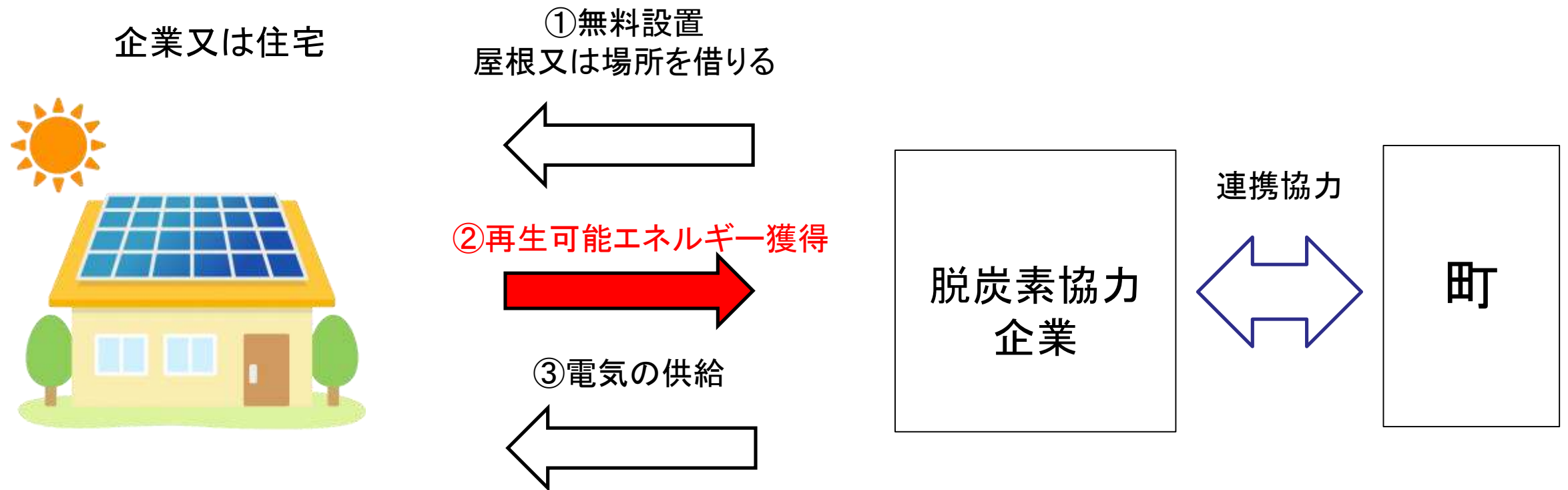
② 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



ア. 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入



3. 脱炭素先行地域の内容

② 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

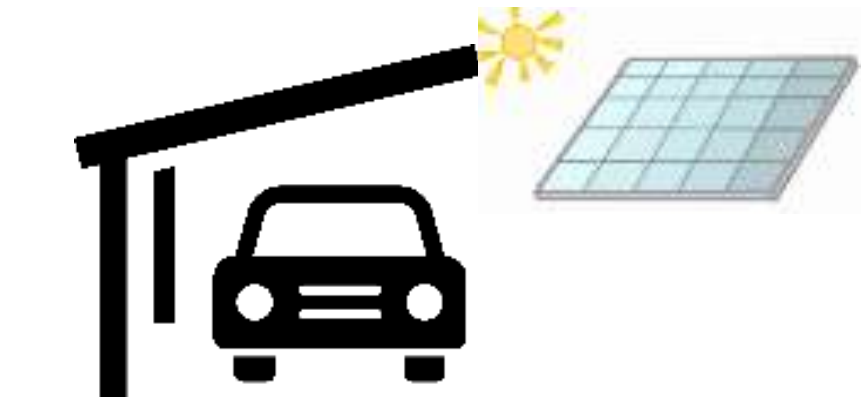
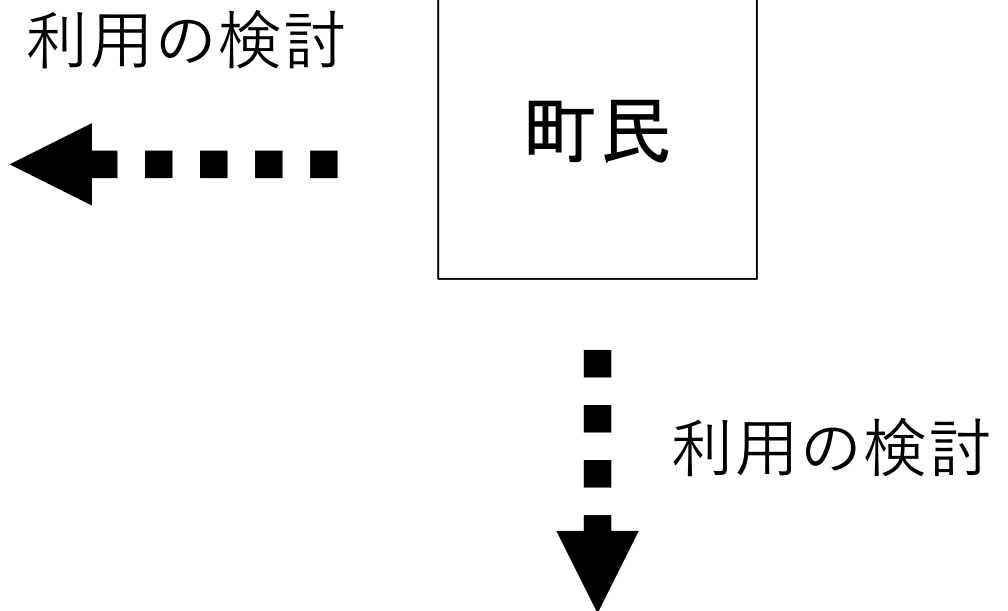


イ.電気自動車の導入活用



公用車のEV自動車化

**EV車の導入
促進**



ソーラーカーポート導入

3. 脱炭素先行地域の内容

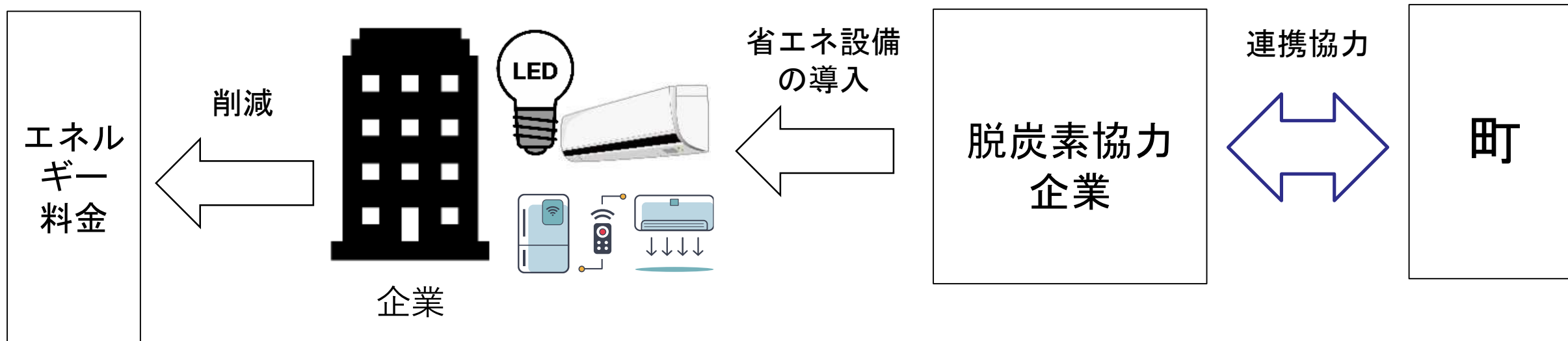
② 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



ウ. 企業等と連携した省エネ化



エ. 日常生活での取組促進（シビックプライドの醸成）



勉強会の開催
省エネの取組（企業・家庭）
働き方改革／エコ通勤
自動車プラスワン運動



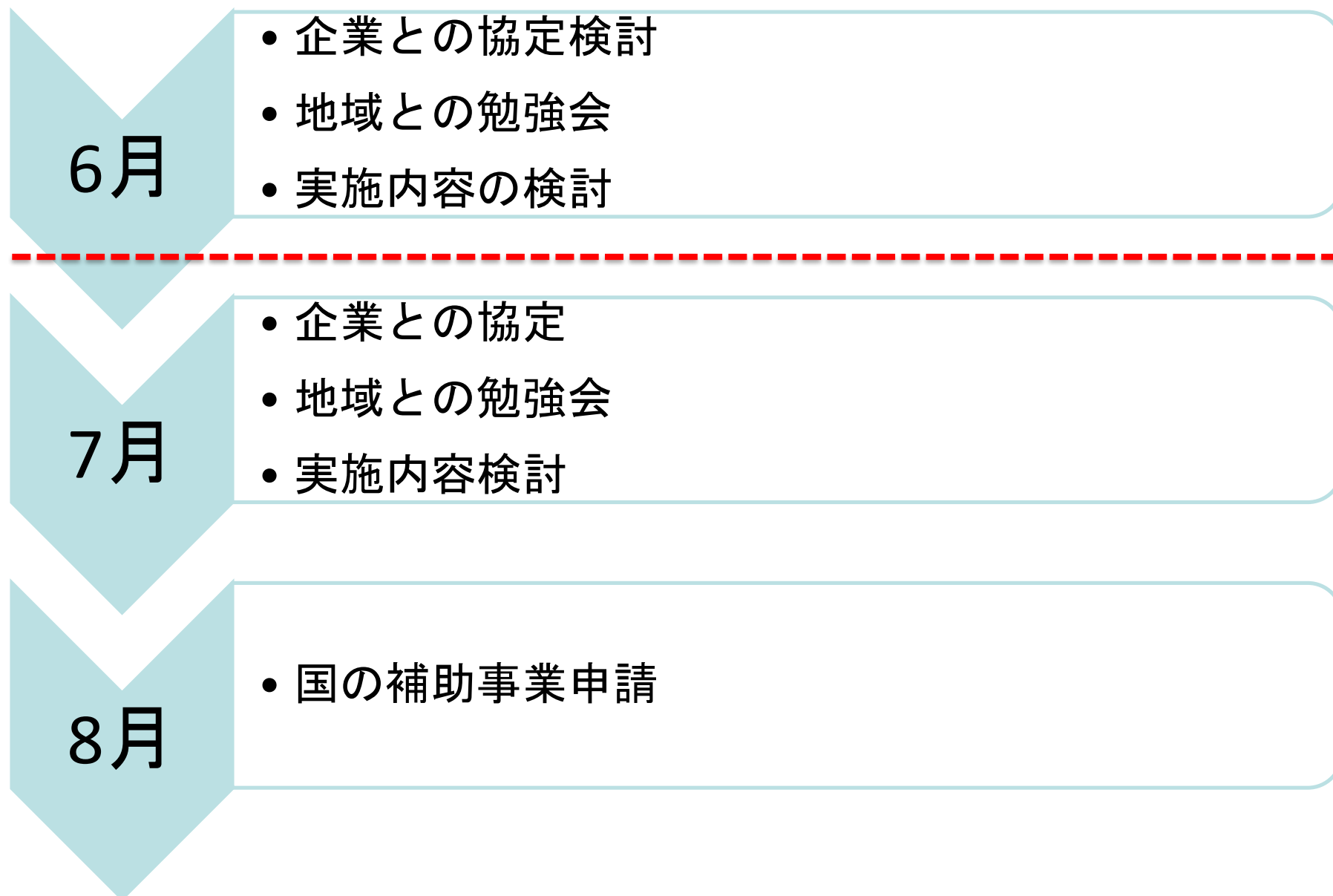
4. 今後のスケジュール



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ繋げて～



引き続き、地域の皆様との意見交換及び企業との連携を行い、実施内容を検討しその内容を基に、国への事業の申請を行う予定。



～事業採択後事業実施～